

コンピュータの構成

「動作」させるのに何が必要か？

- これまでの授業(個別パーツ)のまとめ
- パソコン構成についての実習用紙の項目をもう一度確認してみる
(授業序盤でも考えました)
- 使用しているPCで確認してみる
「デバイス マネージャ」「コンピュータ プロパティ」など
- 既に、レポート課題や、一覧リスト(4月)、パーツ選定(各授業)などの課題済み



パーツを確認してみよう

実際にパーツ選びながら・見ながら必要なもの確認(再)

PCのパーツ選び

- 自作といっても・・・
 - ・全く何もない0から組み立てるわけではない
 - ・ブロック化・モジュール化されている既存品・規格品の「組み合わせ」
 - ・パズル?料理などに似ている??(つまりルールはある)

確認) PC 購入方法

- ・メーカー製のPCを購入する
- ・BTO で PC を購入する。 ← ホワイトボックスPC・ショップブランドPC
- ・PCパーツを買いそろえてPCを組み立てる。

パソコン自作のメリットとは？

- ・ 価格の安さ？ (以前ほどの差はなくなった)
特に高性能な PC の場合に自作の方が安上がり (高性能な PC を安い価格で作れる)

- ・ パソコンの拡張性

アップグレードが容易 (含 故障率が高い部品を交換 など)
部分的な改善も可能なので、長期的に見ればさらに安上がり
→ 製品寿命の短さへの対策？

授業で「PC 組み立て
実習」を取り入れるの
は、まさにこの点の効
果を期待してなので
す！

- ・ 必要な機能を (だけを) 搭載可能

目的に応じて、自分が欲しいパソコンが作れる
最新技術を搭載可能
OS なども選択可
自由度が高い・カスタマイズ可能
→ DIY は楽しいこともある



- ・ **パソコンに詳しくなれる**

パソコンに対する正しい知識・仕組みの理解
トラブルを解決するのに役に立つ知識

↓ ↑

ただし、基本的に**自分で**解決しなければならない (自己責任)

→ もっとも、メーカー品であっても構成をさわれば、補償対象外になる
初心者には敷居が高い

実習) PC パーツの選定 (動作するパソコンセット・値段を選ぶ)

パソコンを組み立てる上で必要な部品を選定してみましょう

- 1) 「必須パーツ」は何か？
- 2) それぞれがどれくらいの価格なのか？
- 3) セット・トータルでいくらになるのか？

選定の際に注意すること

パーツの組み合わせ

→ 全く自由に選べるわけではありません

- ・ CPU - マザーボード - メモリ
- ・ インターフェース - ハードディスク

可能な組み合わせなのかを確認しながら選ぶ

BTO : (Build To Order : 注文にあわせ組立て)

- ・ 選択肢が限られている (組み合わせが決まっている)
- ・ 組み合わせ相性のトラブルが少ない
- ・ 全体構成の見直しが容易

→ **カスタマイズ**



メモ) 種類が多くて選べない?? 適切に「選び」ましょう!!

コンピュータのパーツはいっぱい

⇔

ビジネスライフ学科の科目はいっぱい

↓

組み合わせを選んで1つのPCセットに

↓

組み合わせを選んで1つの履修セットに